

# 後期高齢者医療事業特別会計

留萌市市民健康部市民課  
TEL 0164-42-1805

## 総括

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方及び65歳以上の一定の障害のある方が加入する医療制度です。都道府県ごとに設置される後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市と事務(各種届出の受付・保険料の賦課徴収)を分担しながら運営しています。

令和5年度決算の状況は、歳入379,256,940円に対して、歳出378,824,240円であり、歳入歳出差引432,700円の黒字となりましたが、この黒字は、出納整理期間(令和6年4月1日～令和6年5月31日)に収納した後期高齢者医療保険料などであり、翌年度へ繰り越し、全額を後期高齢者医療広域連合納付金として支出することになります。

保険料現年度収納率は、特別徴収100%、普通徴収98.4%、合計99.5%であり、今後も収納対策に取り組み、後期高齢者医療制度の円滑な運営に努めます。

## 収入

(単位:千円、%)

### ■前年との比較

- ①後期高齢者医療保険料  
保険料軽減対象者の増加による減
- ②繰入金  
後期高齢者医療広域連合のシステムクラウド化対応に伴う事務費繰入金の増
- ④諸収入  
特別調整交付金の減

予算科目	令和5年度			令和4年度		令和4年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①後期高齢者医療保険料	249,544	247,982	65.4	249,436	65.9	△ 1,454	△ 0.6
②繰入金	124,713	124,118	32.7	121,634	32.2	2,484	2.0
③繰越金	989	989	0.3	803	0.2	186	23.2
④諸収入	6,671	6,168	1.6	6,366	1.7	△ 198	△ 3.1
合計	381,917	379,257	100.0	378,239	100.0	1,018	0.3

## 支出

(単位:千円、%)

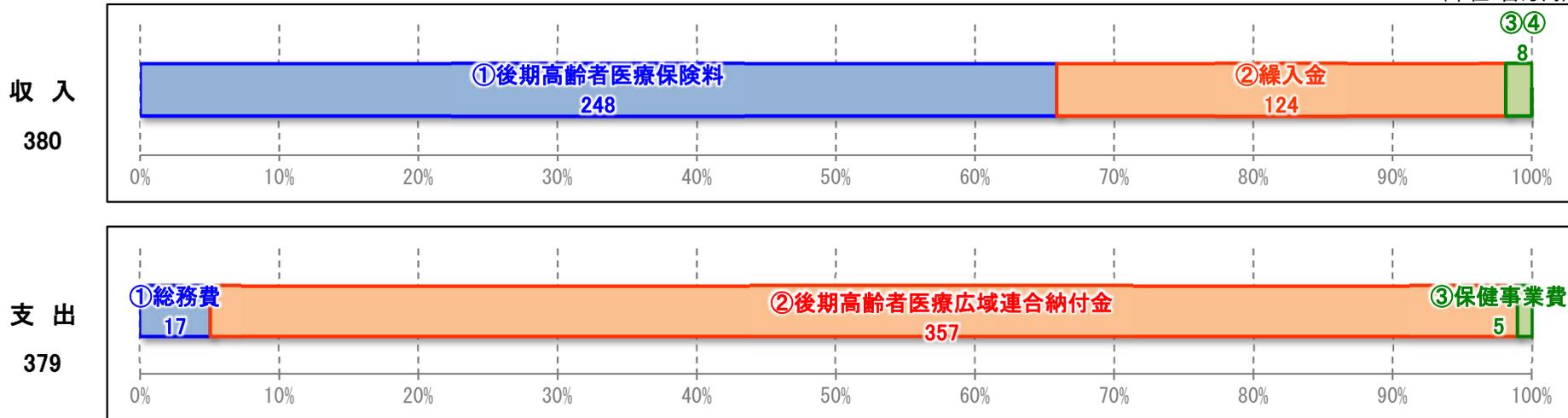
### ■前年との比較

- ①総務費  
人事異動による人件費の減
- ②後期高齢者医療広域連合納付金  
後期高齢者医療広域連合のシステムクラウド化対応に伴う事務費負担金の増
- ③保健事業費  
健康診査及び歯科健康診査受診者の増加による委託料の増

予算科目	令和5年度			令和4年度		令和4年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①総務費	17,212	16,486	4.4	19,274	5.1	△ 2,788	△ 14.5
②後期高齢者医療広域連合納付金	359,414	357,419	94.3	353,748	93.8	3,671	1.0
③保健事業費	5,191	4,919	1.3	4,228	1.1	691	16.3
④予備費	100	0	0.0	0	0.0	0	—
合計	381,917	378,824	100.0	377,250	100.0	1,574	0.4

## 収支の状況（令和5年度決算）

（単位：百万円）



## 令和6年度執行状況（9月30日現在）

### 収入

#### ■収入の状況

- ①後期高齢者医療保険料 年金天引きの特別徴収と納付書で納入する普通徴収があり、ほぼ納期通りの収入となっています。
- ②繰入金 市から後期事業への繰出し(負担)で、年度末の収入となります。
- ④諸収入 北海道後期高齢者医療広域連合からの補助金で、年度末の収入となります。

（単位：千円、%）

予算科目	令和6年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①後期高齢者医療保険料	278,987	121,098	43.4
②繰入金	141,123	0	0.0
③繰越金	1	433	43,300.0
④諸収入	8,583	0	0.0
合計	428,694	121,531	28.3

### 支出

#### ■支出の状況

- ②後期高齢者医療広域連合納付金 期割ごとに保険料、基盤安定負担金、事務費負担金を北海道後期高齢者医療広域連合に納付しています。
- ③保健事業費 保健事業に係る事務費・委託料等からなり、委託料は健康診査に係る経費を、実施実績に合わせ医療機関等に支払います。

（単位：千円、%）

予算科目	令和6年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①総務費	20,401	3,934	19.3
②後期高齢者医療広域連合納付金	400,571	117,074	29.2
③保健事業費	7,622	1,689	22.2
④予備費	100	0	0.0
合計	428,694	122,697	28.6

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、繰入金の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。  
※繰越金の収入率が43,300%となっていますが、今後補正を行い収入率は100%となる見込みです。